

西日本支店長会 Branch

2017.5 No.432

Branch
西日本支店長会

2017年5月 No.432

西日本支店長会事務局

〒810-8721 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞社 西日本会事務局内
TEL092(711)5190 FAX092(711)5199 e-mail:shitenchokai@nishinippon-np.jp



「土谷棚田」 撮影:古賀 敏彦(久留米市在住)

事務局だより Secretariat newsletter

西日本支店長会6月例会・名刺交換会

日 時:2017年6月27日(火)
17時～18時(講演)、18時10分～1時間程度(懇親名刺交換会)
講 師:博多町人文化連盟理事長 西島 雅幸氏
演 題:「一おかしなあ～!ー 博多の童画家『西島伊三雄物語』」
会 場:天神スカイホール

西日本支店長会7月例会

日 時:2017年7月11日(火) 12時～13時30分
講 師:(株)博多ステーションビル 代表取締役社長 漆間 道宏氏
演 題:未定
会 場:天神スカイホール

西日本支店長会・パートナーズクラブ合同例会

日 時:2017年8月24日(木) 12時～13時30分
講 師:アンジェ心療クリニック 院長 諸江 健二氏
演 題:「ストレスについて(仮)」
会 場:天神スカイホール

「西日本支店長会&パートナーズクラブ」西日本大濠花火大会を楽しむ会

日 時:2017年8月1日(火) 19時～
会 場:ロイヤルガーデンカフェ大濠公園
福岡市中央区大濠公園1-3

人間魅力学 できるトップは ここが違う

西日本支店長会4月例会講師は、エッセイスト、ラジオパーソナリティの滝悦子さん。長年にわたる体験レポート集として、各界で御活躍中の方々から得たエピソードを縦横に語っていただきました。豊富な出会いをもとにした内容は機関銃の如き発射数で、誌上掲載はごく一部分。

そのほかにも「ダメと思ったらダメになる」「思い込んだら願いは叶う」「努力は報われる」「マネは学ぶに通ず」「読んで賢くなる喜び」「人はそれぞれ自己流で」「清潔を心掛ける」「心の構えとは。臨終を待たず」などなど、納得のいく生活技術の提案が深い印象でありました。(講演日:2017年4月18日)



エッセイスト
滝悦子さん

本日お話しすることは、すべて人との出会いによって得た体験報告です。

モトになっっているのはラジオのインタビュ番組。制作に関わったのは50年前から、思えば長い道のりでした。

感謝感謝の一言です。

会場を中心企業人、特にトップの地位についての方々に話を聞いて回りました。1000人以上になります。初めのうちは緊張の連続。なにしろ経験がないわけですから。メゲル、落ち込む、涙にくれるそんな場面は数知れずでした。

しかし人間、場数を踏むと強くなる。喧嘩と同じです。何人も何人も出会っていくうちにトップリーダーになる人には共通点がある。根本においてどこか似かよったところがあると気づくようになってきたのです。

そのうちにインタビューに答えてくれる相手の幅が広がっていき歌手、女優、歌舞伎役者、作家、建築家、スポーツ選手、監督、政治家と多岐にわたるようになり、その気づきは確信へと変わっていった。人数も膨らみました。

場数を踏むと強くなる。

彼らはほとんど皆がコンプレックスを抱えた小さな存在から出発し、毎日地道に自身を磨き、やがて輝く人生を手にした人ばかり。共通した心の持ちようがあるという「発見」は、私にとって大きな喜びとなりました。

実は私も、子どものころから劣等感の塊で、特技はないし学歴もない。家庭は複雑。ド近眼で大酒呑み、好奇心だけは人一倍あります。がとにかく、伸びた人は失敗もしている。と分ったのは有り難かった。人に会う。話を聞く。番組やイベントとして成果物になる。そのプロセスが話の種になる。原稿にして発表する。出版する。やがて講演に招かれる。これが私の半世紀です。多くの方々によって導かれた、これこそが究極のエコライフ。なんと良き循環。

それではトップと呼ばれる方々は何を大切にしているのか。意外にもシンプルすぎるくらいシンプルなんです。

基本は挨拶と掃除。

挨拶と掃除。この二つをセットで唱えている経営者は多い。身近なところで、JR九州の唐池恒二会長と二風堂グループの河



いのちにアリガト④〇

GWも終わり皆さんいかがお過ごしでしょうか？
この季節のお散歩が私は一番大好きです

なんといっても
若草の青臭い匂い、花の蜜の豊潤な薫りに
命の力強さを感じます

踏まれちゃうような田圃の畦道の雑草も、
大きく華やかなお花はもちろんですが、
草影に隠れた小さな野の花も
み～んな悦びに満ちています

目立たぬけれど懸命に咲く姿をみると
特にジーンときちゃいます

私なんて駄目だ、大したこと何も出来ない、
同じ事の繰り返しの日々だなんて
思うこともあるけれど

草花は根付いたその場所で生涯を過ごし、
雨風もしのげず、文句のひとつも言わず、
全てを受け入れてる

そんな姿をみていると偉いな～
だからこんなに美しいんだな

私も頑張ろうと思えます

先日四つ葉のクローバーを見付けました
幸せが届きますように

(大國チオナ)

Branch INDEX

2017
5
No.432

例会Report

「人間魅力学 できるトップはここが違う」
エッセイスト 滝悦子さん …… 2～5

日伊国交樹立150周年記念
「世界遺産 ポンペイの壁画展」 …… 6

西日本新聞社創刊140周年記念
五木寛之 特別講演会「いまを生きる力」 …… 7～8

西日本支店長会関西OB会 …… 9～10

九州人奔る …… 11～12

事務局だより …… 13～15

原成美会長。この二人には30年前から知遇を得ていますが、全く異なる業種とはいえ時折会って話をしていると感性の面で共通しているところがある。各々、己の軌跡を著作にして出版していますから分り易く、お推めです。

驚いたのは入社式での社長訓辞の内容。両者ともに偶然とはいえ挨拶と整理整頓がいかに大事かを説いています。

唐池会長は、サービスの向上の取り組みは整理・整頓・清掃・清潔・接遇の5Sを基本として各職場で実践中だがまだまだ発展途上だと。

加えて「町で全然知らない人を見かけても、楽しそうに歩いている人を見るのが一番好きなんです。こちらまで楽しくなるから。駅の社員によく言うのは、お客さまが目の前に現れた時に笑顔を作るのは当然のこと。最も大事なことは、お客さまが目の前に現れる前に楽しそうな顔をしているかどうか。これがサービスの基本。お客さまは遠くから必ず見ているんです。いつ来ても良いように、楽しそうな表情をする。笑顔のことさら作らなくても、楽しそうな顔をすればいいんです。それが最高の「気」だと思います」と言い得て妙ですね。

な魅力、つまり陰影となつて人間味を与えている。うまく出来てますよね、この世の中は。

いままでの人生、順風満帆でスムーズに運んできて悩みもとくありません、という方は要注意です。突然に事故事件が勃発したとき、例えば緊急に記者会見とか、遭遇するかもしれない。

そんな有事の際に困難、理不尽、思いどおりにならない恋などを乗り越えていない方々は実にモロイ。駆け引き、権謀術数、清濁合わせ飲む、などといった腹芸の研鑽、日頃から怠つてはなりません。

自分を奮い立たせる。

朝、目を醒まして一番に思い浮かべたことはその一日を左右する、と解説してくれたのは西洋史家の木村尚三郎先生でした。

「脳はストレートだから、今日は元氣、と言いつ聞かせれば一日持続する」と。脳は複雑なんでしょう？と訊いたら「疑り深い人間は幸福を掴めません」とのこと、素直に従うことにしたんです。

それ以前25年前までの私は朝一番、また二日酔いかシゴトしたくないとかマイナス要因ばかりを知覚していたがヨッシャやつてみ

「気」に敏感で、さまざまの機会に多用し、例えば「気の充満する店は必ず繁盛する」そのためには①スピードある動き②明るく元氣な声③お客さまにスキを見せない緊張感④少しでも成長しようもつと向上しようと努めるどん欲さ。以上の4つのアクションが必要だと説いています。

一方、一風堂創業者は「挨拶は店の気を調える基本中の基本だ」「繁盛店づくりの最大の秘訣は掃除の徹底にあり」。

この2つの言葉を中心に「一風堂心得帖」という格言集も出版、どの分野においてもプロフェッショナルを目指す人には必読の書です。「店は舞台、飲食業は芸術だ」と考え「人生そのものもステージだ。そして主役は自分だ」とも言い切る。彼にとつてシゴトは自己表現、「バックヤードの整理整頓が理想的な舞台をつくる」とも断言しています。

課した主題は「変わらないために変わり続ける」。

変わらない味といわれるためには、つねに味を向上させなければならぬ。ペースになる味は変えず、お客さまの舌においしいと感じる一歩上の味を出し続けることが「おいしい」といわれる秘訣であると頑なに信じ、貫いている。この「貫

ようと一念発起した。

「私は元氣。必ずうまくいく」と我と我が身を鼓舞するようにしたんです。

ルネッサンス期の政治思想学者マキャベリの「勝とうと決心すれば、最悪でも負けない状態になる。負けたくないなと思つたら負ける」「この端的な哲学にシビレてからは、さらに自分を励ますときに何度か思い描きます。

奮い立たせるという意味では中村紘子さんからの直伝もある。偉大なるピアニストであり文筆家です。

「私はね、コンサートの日は舞台上に上がる前に『今日は必ず成功する』と大きな声で口に出して言うの。それがうまくいく秘訣なのよ」「えーっ、周りに人がいるでしょうに」

「恥ずかしがつてなんかいや駄目よ。言霊というのはね、いったん口から出して、外側から自分の耳で聴いて初めて効果があるのよ。あなたも試してごらんさい。きつと判るわよ。私は何十年もやつてるんだから」

心の中で念じただけではパワー不足であり、演奏前の儀式として3回ほど「うまくいく」「私は大丈夫」と口からコトバを発して颯爽とステージに向かうのだと。

く」姿勢が重要で、事あるごとに「変わらないために変わり続ける」と述べる彼を見ると、言葉の韻律の良さもあって、私自身のオマジナイのフリーズにもなつてしまった。お気に入りの言葉を持つことは重要であります。

言葉の蒐集は大切だ。

人気のある人、魅力的な人というのは毎回チガウ話をしているのではありません。むしろ自分の好きなフリーズ、小話を幾つか決めておいて、それを活用している。名経営者しかりです。

自分に一番フィットし、効果のある一節を温存して、TPOで採り出して使う。この繰り返しがそれが効を奏すると分つてきました。

そのためには言葉のコレクションが必要となってくる。コレットと感じたら記憶するかメモを取つておくわけです。たとえば、「人生で最も大切なものは／逆境と／よき友である」(糸川英夫。内之浦宇宙空間観測所にある銅像に刻んであるそうですが、なんと含蓄の深い。

すべてがうまくいったわけではなく、傷だらけになりながら生き残ってきた私には心の底まで響き

なんとまあ素敵、と思つたその日から私も実践しています。

国際的にも抜きん出た活躍をしている女性の類似点はまず相手を魅きつける迫力があり、不思議な靈感に満ちている。その前に、彼女たちの属する華やかな舞台の裏ではとてつもない日々の過酷な営みが積み重ねられているのだから、熱量がそもそも違うんです。

第二にサービス精神が旺盛。同席者が何を欲しているか、喜んでくれるかを素早くキャッチして氣らくにザックバランに対応する。

第三は微笑を絶やさず、イバラズ、腰が低い。

アーティストも女優も作家も評論家も、一流といわれて人気のある方々は、私にいわせると、いつでもクラブのママが務まる要素をお持ちであります。というか、そうでないと世の人々は賞賛しないのではないだろうか。

ところで、松下幸之助翁によれば、成功する男が身につけていなければならぬものは、三つ。「運が強そうなこと」「後ろ姿の味」「可愛げ」だと。

「運が強いかどうか」は、その人を形成するすべて。精神面も教養も根性も技術も統合して運が開け、強運へと導かれる。強そうによ

ます。「どうせ悲しい人の世ならば／せめて楽しいフリをしよう」。シエークスピアの戯曲のこんな台詞に感化されてきた私は「ユーモリストとは不機嫌を上機嫌にぶちまける人のことだ」(ルナール)にも刺激される。「他人にウケようと思つたら大失敗談をしる」と喝破したのは小沢昭一ですが、確かに陰気くさい話は嫌われる。恥ずかしと共に届ける人が人気を集めているのが真理であります。

ある分野のエキスパートとはその分野で何回失敗しているか。

失敗した人が伸びているよね、と気付いた時には還暦になっていました。

特に恋愛において顕著です。

女も男も苦しみあがき、血まみれになり、涙の河におぼれて死にそうになつたほどの体験者たちだけが、真の意味の愛や幸福を獲得している。私はその道においては早熟であり、血氣盛んであると自他共に認めていますから、自然と周りの連中を見物していると、若い時分に傷つかなかつた人は居ない。それはそれは見事なもんです。翳といえは翳だらけです。

しかし、年月を経てそれが微妙

そおうことが王道であると。

「後ろ姿の味」。この大意は、前姿は面構えなどで意識すれば誤魔化せるが、後姿には隙が出やすく欠陥を見破られやすいということ。油断の戒めですね。

もんだいは「可愛げ」です。

男にとつて「可愛げ」が大切だと経営の神様が真面目に述べている。これは一体どういう思慮が働いているのだろうか。私は長いあいだかかつて多方面から「可愛げ」に光を当てて研究をしてきました。それでも定義するのは難しいと解りました。幾つかの資質、条件をそなえて初めて「可愛げ」に近づくわけですが、研究成果は私の著書に詳しく書いております。

何が何でも褒める。

褒める、という行為の重大さを伝授してくれたのは渡辺淳一先生、恋愛小説の大家です。

「日本人の男はあまりにも女房を褒めない。だから定年になつたとたん、捨てられるんだ。キミ、キレイだね、と面と向かつて言わなきゃ」

「そりゃ先生、無理ですよ。疑われてヤブヘビになります」

「そんなケチなこと言つてるかから見放される。もつとイタリア人

を見習わなきゃ。コミュニケーション学の第一は褒めること。僕は全国の講演のたびに女をホメロと推奨しているけど、なかなか広まらないからキミも手伝いなさい。キミが講演する際も必ず、伝道師のように男たちに伝えていきなさい」

根が素直な私は従っているわけですが、また

「だいたいね、顔を見ながら褒めようとするから一生、褒められない。顔で褒めるに値する女は千人万人に一人だから、もう死ぬまで連れ合いを褒められないことになる」

「じゃあどうしたらいいんですか」

「顔を見ないで褒めるんだよ」

「ええっ…」

「朝ね、敵よりも早く起きるんだよ。新聞くらい読むだろ？ 後から起きてきたのが無防備に横を通った時にね、新聞から目を離さずに『キミ、キレイだね』と。相手の顔を見ないからスツと出てくるよ」

「そんなにまでして褒めんといかんですか」

「当然だよ。褒められたら誰だって気分が良くなる。昨日までは不味かった味噌汁が少しはましになる、ちゃんと実験結果が出てくるから間違いないよ」

いわく、善意の嘘というべきものは、ことに商行学では自然な営為

であり、これなくては成立しない。

家庭の幸福とは、日々の努力の賜物。幸福は天から降ってくるものではなく、最善を目指す運営から生まれるのだと教わったのです。

京都の老舗料亭の女将さんの応接が実に見事な所作で丁寧この上なく、コツを尋ねたら「そうですなあ、気持ちを含めんことですよ」と応えた話も含蓄がありました。

考える以前に行動く習慣化した人は強いのだとも知りました。

最強兵器は想像力。

男に美貌を求めない。美貌たる男はどこか胡散臭いと思っているフシがある。これが私の特徴で、他の女性たちと趣を異にする点です。

55年前に死んだ父の教えのせいで「顔の良か男とは付き合うたらイカンよ。キレイな男にろくなものはおらん。小さい時から顔でちやほやされとるけん自分を鍛えとらん。中身はカラッポやけんブ細工な男みつけてアンタが磨いてやりなさい」

未熟な小娘は顔の美醜に目がいきますから腑に落ちぬアドバイスでしたが、体験を重ねるに従って父の教えの深遠さに気づくことになる。

精力的に事業を展開している男、役者として賞賛すべき演技者、歌唱力に衰えのみえぬ歌手、心技体を備えたスポーツ選手や小説家など思い起こせば歴然で、とにかく美貌には程遠い。私の憶測によれば、ハゲ・デブ・チビ、どれかに苦しめられているか、三重苦のどちらかです。

しかしながら、この方々はなんといつても圧倒的にシゴトができる。生まれついたままの顔や身体に頼らず仕事をしてきたことがありありと伝わってくる。

美貌に惑わされるなど着目させてくれた父に感謝を捧げると同時に、身体条件にこだわっている女性より、私は圧倒的に間口が広いのだからこれ以上の幸せはありません。まい。

かといって私は、容貌には深い関心を抱いています。一般にいう美男でなくていいから、眺めわたしたときに器量や品格、風情や個性が伝わってきて欲しい。生きてきた証が、精神の骨格が容姿に刻まれて自然に発散されている。人間味といつてもいいでしょう。

軍の指揮官にとつて最も重要な資質は「想像力」であるそうです。

誰の眼にも動かしがたい劣勢と映る戦況を、微妙な細部を変える

だけで逆転させ、有利に導くのが最上の指揮官なら、そのほんの小事に気づき活用できるのは想像力しかない…とすれば、戦場を日々置き換えても通用するはずで、結局、人間味のある男とは想像力の働く男。他者への思いやりのある男。

難しくはありません。この女は暑いのか寒いのか。帰りたいのか留まりたいのかを見抜き、あらゆる場合に的確な判断を下す。それが想像力の所産、神は細部に宿ります。

私たちが女は男を尊敬したくてウズウズしています。決して特別な才能や権力、野心や資産を欲してはおらず、ましてや美しく整った顔など問題外。

ほんの少しの「心配り」を忘れてほしくないだけなのです。

エッセイスト 滝悦子

長崎県生まれ。フリーライターとして、新聞、雑誌の取材記事、広告文案、エッセイ、コラムを執筆。放送番組のパーソナリティ、インタビュー、企画、構成、台本も手掛ける。主な著書は「博多発・味な男たち」「奔流の女」「鯨くう日々」「九州の美術散歩」「悦子と美沙子の男やろうもん。」「1日1分! 読むオトコマエ術」。毎週日曜7～8am「滝悦子と石川セリのMy Life My Song～人生は歌と共に～」(LOVE FM)好評放送中。



古代ローマ最高峰の美

日本初公開

日伊国交樹立150周年記念

ポンペイの世界遺産の壁画展

LA PITTURA
PARIETALE ROMANA A
POMPEI

休館日／月曜日 開館時間／9時30分～17時30分(入館は17時まで) 観覧料／一般1,500円(1,300円)、高大生800円(600円)、小中生500円(300円)※()内は20人以上の団体。

【主催】福岡市博物館、西日本新聞社、テレビ西日本、TVQ九州放送 【協賛】旭化成、大日本印刷、日本通運 【協力】アリタリア・イタリア航空、日本貨物航空 【学術協力】ナポリ国立考古学博物館、ポンペイ監督局

2017. 4. 15(土) → 6. 18(日)

公式サイト <http://www.nishinippon.co.jp/cp/pompei/> 福岡会場公式 [facebook](#) [twitter](#) 更新中

福岡市博物館
Fukuoka City Museum

〒814-0001 福岡市早良区西渡辺3丁目1-1 TEL:092-845-5011 FAX:092-845-5019

上：(赤ん坊のテラフォスを発見するヘラクレス)(部分) 後1世紀後半 ナポリ国立考古学博物館蔵 © ARCHIVIO DELL'ARTE - Luciano Pedicini / fotografo
下：ポンペイ遺跡 © Fototeca ENIT, photo: Gino Cianci 写真提供：イタリア政府観光局



西日本新聞創刊140周年記念

五木寛之 特別講演会 「いまを生きる力」

西日本会合同例会 支店長会などから460人参加



大切に叱咤激励されたようなお話でした」とあいさつの言葉を述べました。

「愁い」をキーワードに説いた

五木さんは自然の四季のように人生を「青春・朱夏・白秋・玄冬」の4区分で捉えた上で、民主主義国家として70年を超えた日本も人生に例えれば、これから「玄冬」の時期を迎えると位置付けた。

明るさを追求し、「愁い」を敬遠してきた戦後日本の風潮に言及しながら、「玄冬」の時に愁いは頭をもたげる。愁いは人間存在の根底に触れる大事な感覚であり、心に抱えて生きなくては」と語りかけた。

(西日本新聞2017年3月30日付朝刊より)

第2部は交流懇親会

五木氏の講演終了後は、第2部の交流懇親会。西日本会の各団体を代表して、西日本政経懇話会会長で九州電力相談役の松尾新吾氏が、「本日は五木寛之さんをお迎えし、本当に心にしみると言いますか、人生の哀歓についての本当に素晴らしい講演でした。私も五木さんに近い年齢ですので、非常に意味のあるお話をされたと思っています」とあいさつの

日々を大切にすること

西日本新聞は、2017年4月17日で創刊140周年。これを記念して、3月29日に「西日本新聞創刊140周年記念五木寛之特別講演会」が福岡市博多区のホテル日航福岡で催されました。

西日本会に所属する西日本支店長会やパートナーズクラブ、西日本政経懇話会、地域フォーラムの合同例会の第6回例会として開催するもので、第1部は五木氏の特別講演会。西日本会の会員に加え、一般募集した参加者300人も来場しました。

開会にあたり、西日本新聞社の柴田建哉代表取締役社長が壇上へ。「西日本新聞の創刊140周年として、超多忙な五木寛之氏に来ていただきました。今、連載が7、8本。さらに、ラジオの収録が毎日ということ。五木さんからお話を伺った中で印象的だったのが、ボブ・ディランのことです。ボブ・ディランはコンサートやライブを大切にしている、レコードやCDはその結果であるということを例にして、自分もそうだと言われました。日々の連載は、毎日どうやって読者に読んでもらうかを大切にしている。その結果として単行本ができる。新聞も日々を大切に、そして読者を

後、乾杯のご発声をされました。

交流タイムでは名刺交換をする会員や久しぶりに顔を合わせて近況報告をする会員など、会場全体が談笑に包まれていました。

交流懇親会の中締めは、西日本新聞社の川崎隆生取締役会長。「本日は西日本会の六つの団体から460人が参加されました。それに加え、五木さんの講演には一般の方300人を招待しました。一般の方は新聞の社告で募集したところ2000人の応募がありました。九州、そして福岡ということ、五木さんの人気が分かります」と話したあと、五木氏が西日本新聞などに連載した『親鸞』について触れ、「毎日毎日続けることが新聞社にとって命です」と言葉を結び、交流懇親会はお開きになりました。

作家
五木 寛之

1932年、福岡県に生まれる。戦後、北朝鮮より引揚げ。早稲田大学文学部ロシア文学科中退。1966年、『さらばモスクワ愚連隊』で小説現代新人賞、『蒼ざめた馬を見よ』で第56回直木賞、『青春の門』で吉川英治文学賞を受ける。2002年度第50回菊池寛賞、2010年、NHK放送文化賞、第64回毎日出版文化賞特別賞を受賞。小説以外にも幅広い批評活動続ける。代表作に『風に吹かれて』『朱鷺の墓』『戒厳令の夜』『蓮如』『風の王国』『大河の一滴』『TARIKI』『親鸞』(全6巻)などがある。





西日本支店長会 関西OB会 出席者

氏 名	現職会社名	役 職	現役会員時社名・役職
石 田 能 久	(株)ニシテック	ビルシステム事業部ソリューション部長	アズビル(株)ビルシステムカンパニー九州支店長
上 野 至 大	NPO法人ママの働き方応援隊	会長	西日本電信電話(株)福岡支店
大 屋 裕紀彦	(株)ジェーシービー	大阪支社長	(株)ジェーシービー 九州支社
岡 田 浩 一	コニカミノルタジャパン(株)	官公庁事業部 担当部長	コニカミノルタビジネスソリューションズ(株)
奥 田 昭 一	(株)リジェンド・エンジニアリング	取締役	住友電設(株)九州支店
押 部 隆 利	TOTO(株)	上席執行役員関西支社長	TOTO(株)九州支社
勝 寛	大阪東急REIホテル	総支配人	(株)博多エクセルホテル東急
上 川 幸 一	大和ランテック(株)	専務取締役	大和ハウス工業(株)福岡支社
菊 川 博 士	阪和興業(株)	大阪本社 条鋼建材第一部長	阪和興業(株)九州支店長
北 川 聡 一	神鋼テクノ(株)	常務取締役	(株)神戸製鋼所 九州支店
城 崎 好 浩	東京建物(株)	執行役員関西支店長	東京建物(株)九州支店
住 谷 安 彦	DICグラフィックス(株)	大阪支店 西日本グラビア営業本部長	DICグラフィックス(株)九州支店
高江洲 文 雄	(株)ミライト・テクノロジー	取締役相談役	西日本電信電話(株)
長谷川 隆 一	(株)竹中工務店	大阪本店 常務執行役員	(株)竹中工務店 九州支店
松 崎 公 一	鹿島建設(株)	常務執行役員関西支店長	鹿島建設(株)九州支店
丸 市 佳 永	三和シャッター工業(株)	中部・関西ビル建材事業部長	三和シャッター工業(株)九州広域ブロック
山 本 敏 也	福西電機(株)	代表取締役社長	パナソニック(株)エコソリューションズ社
厨 元 博	福岡県大阪事務所	次長	

●現職会社名・役職は2017.2.22時点 ●氏名50音順



西日本支店長会関西OB会



「西日本支店長会関西OB会」が2月22日(水)、大阪市のホテルグランヴィア大阪で開催されました。参加者はOB会員18名、新聞社から6名の24名でした。1年ぶりに再会する会員もいて、会場は和やかなムードに包まれていました。

最初に西日本新聞社からの参加者を紹介し、代表として、柴田建哉社長があいさつ。1年を振り返り、熊本地震に関することや宗像の関連遺産群が世界遺産に登録される動きなど九州・福岡の近況報告と、西日本新聞社が今年4月に創刊140年を迎えることを語りました。

乾杯の音頭は、関西OB会会長でTOTO関西支

社 上席執行役員関西支社長 押部隆利氏。昨年の7月に、東京・関西・福岡のOB会員が福岡に集い、初めての合同OB会を行い楽しかったことなどに触れ、乾杯の発声をされました。

会の後半は、参加者による近況報告です。各人、関西での仕事や福岡時代の思い出などを、関西らしくユーモアたっぷりに披露。会場は笑い声であふれていました。最後は、福岡県大阪事務所の厨元博事務所次長があいさつを兼ねて大阪事務所のPRをしました。

近況報告の終了後は、お楽しみ抽選会。賞品は福岡の秋の風物詩、宮崎宮の放生会で人気のおはじきとちやんぽん。抽選箱の引き手は、新聞社坂井取締役で、大いに盛り上がりしました。

最後は恒例の「博多祝い唄」3番と博多手一本。「博多祝い唄」1番は高江洲さん、2番は北川さん、3番は押部会長。高江洲さんの博多手一本で見事に締めました。





九州人が、一直線に奔る。
目的のため、がむしゃらに奔走する。
時代を超え、壁を破り、走り抜いた人びと
その軌跡を辿る。

戦国武将から
土木事業家に転身した
加藤 清正 (1562~1611)



道が使われている。400年を経て、清正の数々の事業が輝いている。

清正に救われた

もし、清正の豊後街道・清正公道がなければ、阿蘇、熊本、救援、復旧は大きく遅れたかもしれない。国道57号は南阿蘇村立野での斜面崩壊によって、約300㍎に渡って、崩れ落ちたほか2カ所で損壊した。また、国道325号への分岐点・阿蘇大橋が落橋。落橋は免れたものの途絶した阿蘇長陽大橋の前後の道路は深い溪谷に落下した。特に国道57号の途絶は中九州で東西を繋ぐ基幹道路だっただけに、経済的、社会的な影響は大きかった。

救ったのは清正の豊後街道だった。豊後街道は熊本城を出て、阿蘇を通り、中九州を横断、大分市・鶴崎まで約125㍎の九州横断道路。幅員40㍎近く、屋久杉の並木で知られる大津

熊本地震で、甦る清正の土木事業

災害対策に慶長地震の経験生かす

街道から、外輪山越えの清正公道で阿蘇・内牧に出るルートだ。

国道57号は、外輪山越えはせず、外輪山が唯一切れている立野火口瀬を通過する。白川沿いから黒川右岸沿いに造成され、深い溪谷の縁を走っている。今回の熊本地震では、地震動によってその外輪山の斜面が崩壊、50万立方㍎もの土石が崩れ落ち、JR豊肥線、それに並行する国道57号を飲み込み、阿蘇大橋を一瞬のうちに落橋させた。

実は、中九州高速道路(地域高規格道路)が計画されていたのだが、観光シーズンの渋滞を解消するため、国道57号の4車線化を優先するとして、工事は棚上げされてしまっていた。このため、国道57号の代替道路は計画から消えてしまったのである。

「清正の選択」に助けられる

清正造成の豊後街道・清正公

道は、計画されていた中九州道と国道57号の間のルートで、立野溪谷を避けて大津から外輪山越えとなる。現在の道の駅「大津」から左折、外輪山を登り、二重峠を越えて、急斜面を下り、麓の石く内牧に至る。坂道は石畳を敷き詰める大変難しい工事を行っている。沿線地区の住民が駆り出され、約2㍎の急坂に大石を運び上げ、土砂崩れに耐えられる「道普請」、その重労働は想像を超えるものだったようだ。

なぜ、現在の国道57号のように白川、黒川沿いに造らず、あえて外輪山越えのルートで造成したのか。当時の道路技術では、溪谷沿いの道普請が不可能だったのか、今回のように地震や阿蘇火山爆発による斜面崩壊や土石流災害が頻発するため、安全コースを取ったのか、「清正の選択」の理由は今となつては解くすべもないが、近代土木技術で建設された国道57号が途絶、唯一のう回路として

清正公道(現在ではミルクロードと呼ばれている)が被災地を救っている。今回の熊本地震の教訓から、北側復旧ロードが計画されている。清正公道のさらに北側の中九州道とほぼ同じルートで、外輪山をトンネルで抜ける計画になっている。

大枚で、人材引き抜き

熊本城は鉄壁の石垣、特に武者返しの石積みが有名だが、本丸の武者返しは今回の地震にも耐えている。下部を緩やかな傾斜で固め、上部をほぼ垂直に積み上げている、忍者といえども忍び込めまいといわれる。

清正には慶長地震の経験があった。秀吉が居城としていた伏見城が地震で崩壊、700人を超える死者を出した。朝鮮の最前線から呼び戻されていた清正は直ちに救援、復旧にあたった。その被災・復旧経験から、熊本城築城に当たって滋賀の石工集団・穴太衆をわざ

わざ呼び寄せ、耐震性の高い城壁・石垣づくりに当たらせている。

清正は部下にも優秀な土木技術者をリクルート、重臣としている。例えば佐賀鍋島藩の重臣・成富兵庫茂安を「1万石」で引き抜こうとした。成富兵庫は筑後川堤防、有明干拓、水源確保のため池・水路づくりに献身、佐賀を大農業国にする礎となった。兵庫の引き抜きはうまくはいかなかったが、土木技術者の引き抜きには大枚を惜しむことなかった。23年間の肥後の清正治世は領民の感謝と尊敬を集め、現在も「せいしよ」と畏敬されている。

清正の豊臣家へ忠誠は終生変わらず、その為、徳川幕府に警戒され、清正の死後、2代目で取り潰された。しかし、代わった細川家は肥後入国の時、行列の先頭に、清正の位牌を掲げたという。肥後領民の清正敬愛の心情を慮ったのだ。

|| 敬称略(久保平)

新入会員



株式会社あんしん

執行役員福岡営業部長
上江洲 謙氏
(沖縄県出身)

●所在地／福岡市博多区博多駅南4-2-10
南近代ビル5階
●電話／092-481-2052



積水化学工業株式会社

環境ライフカンパニー
九州支店長
大橋 人司氏
(岐阜県出身)

●所在地／福岡市博多区店屋町1-35
●電話／092-271-1306



株式会社東京ニュース通信社

西日本メディアセンター長
稲垣 知哉氏
(神奈川県出身)

●所在地／福岡市博多区博多駅東3丁目
3番3号 新比恵ビル
●電話／092-473-7011



野村不動産株式会社

福岡支店長
伊藤 喜章氏
(福島県出身)

●所在地／福岡市中央区天神2丁目14番8号
●電話／092-641-6500



三井物産株式会社

理事九州支社長
嶋津 雅彦氏
(福岡県出身)

前理事九州支社長 小島俊二氏は三井物産
スチール株式会社 常勤顧問＝東京都＝へ



三井不動産株式会社

九州支店長
河村 隆司氏
(大阪府出身)

前九州支店長 吉原誠氏は三井不動産レジデ
ンシャル株式会社 人事部長＝東京都＝へ



三菱ケミカル株式会社

九州支社長
渡辺 克行氏
(埼玉県出身)

前九州支社長 野澤佳隆氏は大阪支社長＝
大阪府＝へ



三菱地所リアルエステート サービス株式会社

九州支店長
坂井 康太氏
(神奈川県出身)

前九州支店長 白戸学氏は営業六部担当部
長＝東京都＝へ



三菱地所レジデンス株式会社

福岡支店長
貝守 学氏
(東京都出身)

前福岡支店長 平川清士氏は第一計画部長
＝東京都＝へ



三菱電機株式会社

九州支社長
大庭 能成氏
(大分県出身)

前執行役員九州支社長 齋藤真輔氏は株式
会社カナデン＝東京都＝へ



株式会社安川電機

九州支店長
大淵 博義氏
(福岡県出身)

前九州支店長 小西純輔氏は社会システム
営業部長＝東京都＝へ



独立行政法人都市再生機構

九州支社長
西周 健一郎氏

前九州支社長 内山省吾氏は定年退職



日鉄住金物産株式会社

常務執行役員九州支店長
中野 行雄氏



日本アイ・ビー・エム株式会社

エンタープライズ事業本部
西日本支社長
瀬戸 大助氏
(兵庫県出身)

前エンタープライズ事業本部西日本支社長 岡崎高氏は
エンタープライズ事業本部 理事中部支社長＝愛知県＝へ



日本紙パルプ商事株式会社

執行役員九州支社長
松浦 伸行氏
(大阪府出身)

前執行役員九州支社長 山本紳一郎氏は執
行役員中部副支社長＝愛知県＝へ



パナソニックシステムソリューションズ ジャパン株式会社

執行役員九州社社長
岩崎 哲氏
(大阪府出身)

前執行役員九州社社長 堀浩一氏は公共シ
ステム本部 事業企画総括＝東京都＝へ



古河電気工業株式会社

九州支社長
阪 和憲氏
(北海道出身)

前九州支社長 吉新久人氏は古河電工パワーステム
ズ株式会社 執行役員配電事業部長＝神奈川県＝へ



株式会社みずほ銀行

執行役員福岡支店長
富取 隆浩氏
(東京都出身)

前執行役員福岡支店長 廣瀬淳氏は常務執
行役員＝東京都＝へ



株式会社銭高組

理事九州支店長
曾我部 修一氏
(宮城県出身)

前執行役員九州支店長 衛藤陽一氏は執行
役員広島支店長＝広島県＝へ



大和証券株式会社

福岡支店長
増喜 裕二氏
(東京都出身)



株式会社竹中工務店

九州支店長
弓削 裕治氏
(佐賀県出身)

前執行役員九州支店長 吉田寛史氏は執行
役員＝へ



テクニカル電子株式会社

福岡営業所所長
木村 亮太氏
(福岡県出身)

前パーキング営業本部九州地区担当部長
東山晃氏は大阪営業所長＝大阪府＝へ



鉄建建設株式会社

執行役員九州支店長
魚谷 和亮氏
(兵庫県出身)



東急建設株式会社

執行役員九州支店長
久田 浩司氏
(鹿児島県出身)

前執行役員九州支店長 清水正敏氏は管理
本部長＝東京都＝へ



東京海上日動火災保険 株式会社

福岡支店長
吉田 篤司氏
(愛知県出身)



協和機電工業株式会社

取締役福岡支店長
坂井 崇俊氏
(長崎県出身)

前福岡支店長 竹市浩氏は福岡支店次長＝へ



月桂冠株式会社

九州営業部長
塩田 純也氏

前九州営業部長 平松祐一氏は株式会社藤
清 営業部長＝京都府＝へ



三機工業株式会社

執行役員九州支店長
勝野 耕治氏
(福岡県出身)



資生堂ジャパン株式会社

専門店事業本部 営業本部
九州支社長
嶋添 博文氏
(愛媛県出身)



住宅金融支援機構

九州支店長
齋藤 正明氏
(山形県出身)

前九州支店長 有田信也氏は監査部長＝東
京都＝へ



新日鉄興和不動産株式会社

福岡営業部長
栗原 勇人氏
(三重県出身)

前福岡営業部長 菅義文氏は開発企画本部 プ
ロジェクト開発第二部 担当部長＝東京都＝へ



住友生命保険相互会社

福岡支社長
毛利 聡志氏
(長崎県出身)

前福岡支社長 堀江喜義氏は営業教育部長
＝東京都＝へ

事務局だより

Secretariat newsletter

会員異動



株式会社IHI

九州支社長
吉原 毅氏
(鹿児島県出身)

前九州支社長 佐田誠氏は総合営業部長＝
東京都＝へ



アドソル日進株式会社

社会システム事業部副事業部長
兼 九州支社長
朝比奈 一炎氏
(福岡県出身)

前九州支社長 片山健児氏はIOTシステム
事業部長＝東京都＝へ



伊藤忠商事株式会社

九州支社長
小田 文信氏
(広島県出身)



オリンパス株式会社

福岡支店長
医療九州営業部長
瀧口 正晴氏
(東京都出身)



北東北三県福岡合同事務所

所長
宮古 暁氏
(青森県出身)

前所長 三浦雅彦氏は青森県東京事務所 次
長＝東京都＝へ